

## 長崎県の野鳥 掲載例



### キジ

キジ目 キジ科 全長雄80cm 雌60cm

県内に生息しているキジは、県本土、平戸島、五島列島などの山地から平地の林縁付近や草原、農耕地付近などの開けた草地や伐木の茂みなどに生息しています。夜は木の枝にとまって寝ますが、昼間は地上で昆虫類その他の小動物や植物の実、種子、葉などを食べています。一雄多雌で、1羽の雄は数羽の雌を連れ、雌は草かげの枯草の上などに産卵して繁殖します。対馬には朝鮮半島から移入されたコウライキジが生息しています。

### ナベヅル

ツル目 ツル科 全長96.5cm

ナベヅルは東部シベリア南部付近で繁殖して、日本には冬鳥としておもに鹿児島県出水水平野と山口県熊毛町に渡来して越冬します。朝鮮半島や中国揚子江下流域でも越冬するようですが、世界中のナベヅルの大部分は日本で越冬すると言われます。北部九州では渡りの時期に姿を見ますが、県内では春に大群の渡りを見ることがあります。



### マナヅル

ツル目 ツル科 全長127cm

繁殖地はナベヅルとはほぼ同じ東部シベリア南部付近の地域で、越冬地は日本、朝鮮半島、中国揚子江流域付近になっています。日本で越冬するものの大部分は、鹿児島県出水水平野に渡来します。県内では春秋の渡り時期に上空を飛行するものが見られます。諫早平野や対馬その他の地域では、休息採餌などで一時飛来するものも見られます。



### オシドリ

カモ目 カモ科 全長45cm

日本には冬鳥として渡来越冬するものと、国内で繁殖するものがあります。県内で繁殖するものはほとんど見かけませんが、冬鳥として渡来するものは多く、林に囲まれた貯水池や河川に群れをなして越冬します。シイやカシ、コナラなどの実を食べます。

### ヒドリガモ

カモ目 カモ科 全長48.5cm

シベリアからヨーロッパ方面の北部の広い地域で繁殖して、冬は温暖な地域に移動します。日本には冬鳥として各地に渡来越冬しています。県内にも各地に渡来して、内湾や池、河川などに群れているのを見かけます。植物質のものもよく食べているようです。



### コガモ

カモ目 カモ科 全長38cm

日本では北海道や本州の山地で少数繁殖するものがありますが、多くは冬鳥として渡来します。県内でも各地の内湾や池田、河川などに渡来します。水草が多く、周囲に林ややぶのある池であれば他のカモ類が飛来しない小型の池にもすみ、公園の池にも飛来します。



### オナガガモ

カモ目 カモ科 全長雄78cm 雌53cm

ヨーロッパやシベリア北部、北アメリカ大陸の北部などの広い地域で繁殖し、冬は温暖な地域に移動します。日本には冬鳥として各地に多数渡来し、県内でも涼やかな内湾や池などでよく見られ、諫早湾では数千羽の群になることもあります。

